

【22_203思考系メルマガ】「わかりやすい言葉(物語)」に騙されないために

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

今回は、いつもにも増して抽象度の高い話になりますが

玉石混交なトレードに関する情報の中でも、いわゆる「石(ゴミ 笑)」な情報をうっかり拾わないようにするための

大事な考え方について、今日は話をしていこうと思います。

「
■ 人は「物語」を信じやすく、騙す人間はそこを突いてくる
」

参議院議員選挙が終わって暫く経ちましたが

あの時は本当に色んな思惑がタイムライン上を行き来したのを目にしたと思います。

選挙戦の時期に限った話ではありませんが、Twitterでもイデオロギー、政治系の話になるとよく出てくるのは

「××みたいな考え方をする奴がいるから、日本はダメなんだ！」

もっと過激になってくると

「〇〇がこの世からなくなれば、世の中は良くなるんだ！」

などといった暴言が、当たり前のように飛び出してきてましたね。

(今もあまり状況は変わっていないかもしれませんが、、、)

これは極端な例であるように感じる人もいるかもしれませんが

このように物事を「極端に単純化」し、世間の複雑さ(白黒だけでは線引きできない沢山の論点、問題点、グレーゾーン)を無視した表現を

「物語」と言い換えて警告している人がいて、僕もその通り危ないものだと思っています。

人の精神は基本的に弱いので(僕もそうですが)、自分の不遇をつい自分以外の「何者か」のせいにしたくなるものです。

その時に、極端に単純化されて出てくる「何か」に原因を擦り付けられるような「物語」をつい信じたくってしまいます。

ですが、それこそが「石」の情報を掴ませようとする罠であると気付かないといけません。

これを、トレードの情報収集にあてはめても同じような事が言えるのですが

「トレードで勝ちたいのなら、〇〇だけを見て(やって)！」

「××さえ理解できれば、他の情報はいらぬ」

こういったポジショントークに置き換えて、発信者に都合の良い情報のみに注目させるように仕向けるのです。

これが、ポジショントークというやつですね。

今更言うまでもない事かもしれませんが、トレードで勝つ(≡安定した収益を出し続ける)という視点で物事を考えるときに

「一言で説明できるような1つ、2つだけの何か」を知っていれば達成できるなどといった

そんな単純な話で解決するわけがないのは、もう皆さんは分かっていると思います。

それだけ事が「単純」に済むのなら、この界限は勝っている人だらけのはずでしょうし

自分がそもそも、ここまで苦労することなどなかったはずですからね。

つまり、情報を発信するものによって都合のいい「物語」に騙されてはいけないというのは

早い話がこういう事なのです。

僕は、いつも説教臭いことをこのメルマガ等でも書いていますが

(いつもお付き合いいただいて、本当にありがとうございます)

- ・テクニカルを理解するだけでは、トレードは勝ち続けられない
- ・テクニックだけでなく、その屋台骨となる『考え方』が重要
- ・それぞれの要素をスタイルに落とし込んで、実際勝てるようになるまでには途方もない試行錯誤が必要で、時間もかかる

トレードで稼ぐと言う事は、この厳しい事実を受け入れつつ

その為に必要な知識・技術のパーツを集め、検証し、フォワードテストを介して自分のスタイルに落とし込むこと。

結果として遠回りになることもあるかもしれませんが

これを地道に行う事の重要性を押さえておく。

そして、その重要性を説いている発信者を一早く見つけておく事が、『”玉” の情報』に近づく一番の方法です。

最近、僕のタイムラインで

僕がよく知っているある方は、毎日深夜まで働きながらトレードの勉強をしているのですが

その方が非常に良いことをツイートしていて、僕も引用して紹介させて頂きました。

▼当時のツイート▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1546162195519909890?s=20&t=MXqwTJwfig2k-ODr5QpMQ>

当時の選挙における世間の反応が話題の中心で、FXの話は後半の2行だけなのですが

これこそ、今日の話の重要性を最も端的に表現している内容です。

「考える、行動する」というのは、非常に労力のいる事ですし、疲れるし、面倒くさいんです。

ですが現実問題として、それをひたすら回避しながら

「いい事言っている人の言葉」をインプットして分かった気になっているだけでは

いつまでたってもトレーダーとして成長する事はあり得ません。

僕自身、結果として無駄だった検証なども沢山やってきたし(今もやってるけど 笑)

色んな遠回りをしていても、そこから得られた情報を次に活かすことを繰り返しています。

そういった積み重ねから得られたものを言語化・体系化して、今後も皆さんに情報共有していくので

引き続き役立ててもらえれば幸いです。